

台風第14号の今後の見通しについて

日時：令和2年10月9日11時00分
場所：名古屋地方気象台（会議室）

（本資料に関するお問い合わせ）

名古屋地方気象台

防災担当：052-751-5124
観測予報現業：052-751-0909

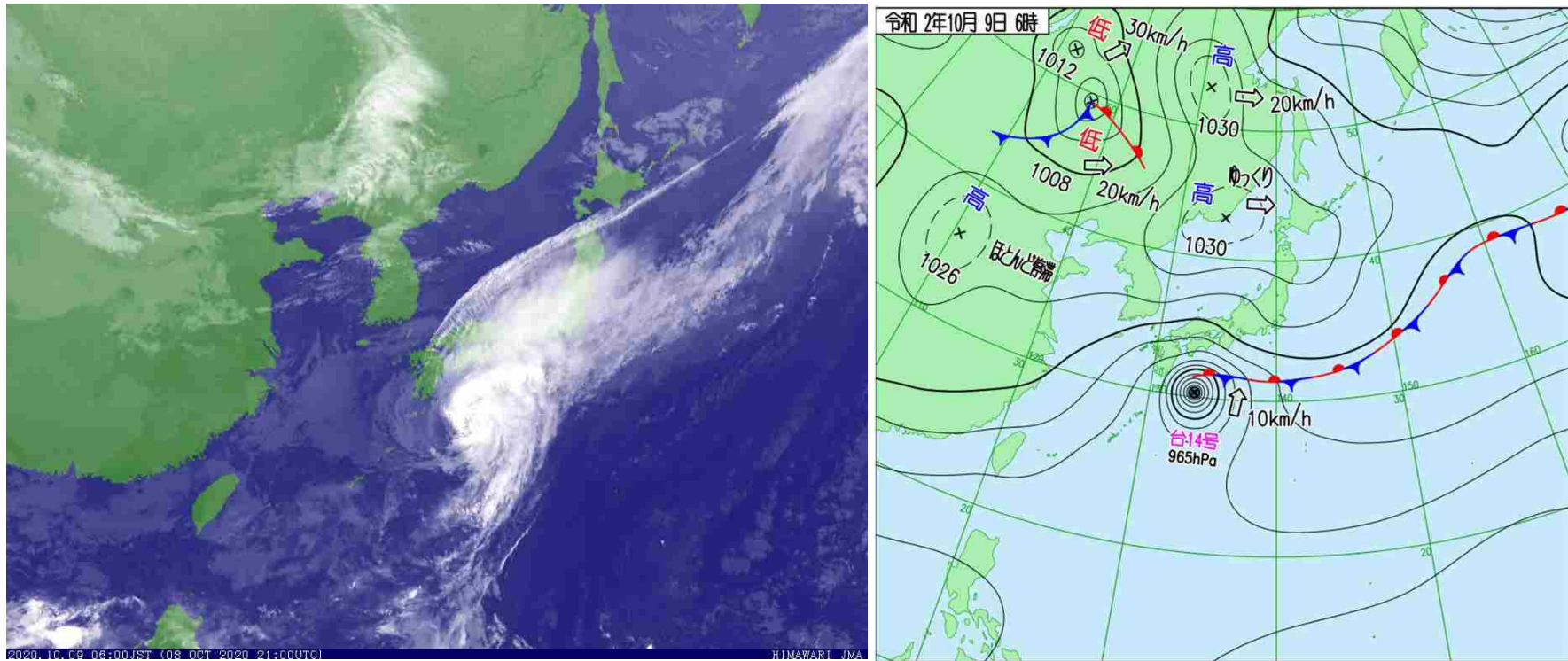
台風第14号の見通しのポイント

10月9日 10時時点の資料

- ★ 台風は、**10日に東海地方に接近して東日本の南海上を東へ進む見込み**です。
- ★ 台風本体の雨雲の影響により、**10日にかけて、三重県、静岡県の山の東から南東斜面を中心に総雨量が多くなる見込み**です。
- ★ 台風の接近に伴い、**海上を中心に10日朝から暴風となり、三重県では10日朝から猛烈なしけとなる見込み**です。
- ★ 台風が東海地方に**最も接近する10日は、急激に雨や風が強まり、大雨、暴風、高波による災害の危険度が高まるおそれがあります。**
- ★ **9日の明るいうちに、台風に対する備えを行う必要があります。**

10月9日06時現在の状況

10月9日 10時時点の資料



10月9日06時の気象衛星赤外画像（左）と06時の地上天気図（右）

今後の予想を含めた最新の資料をご利用ください。

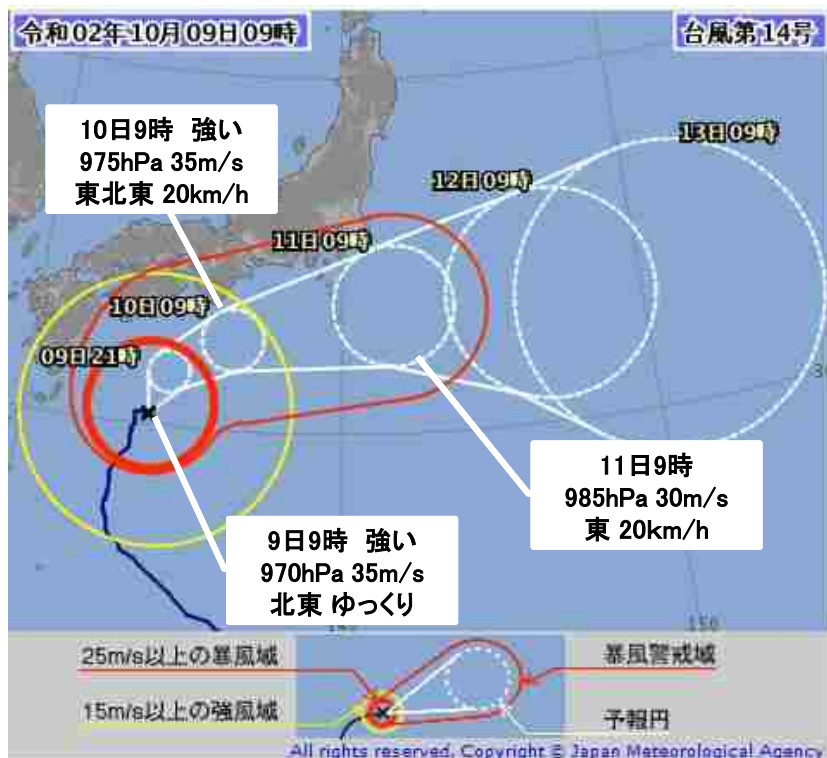
(天気図 : <https://www.jma.go.jp/jp/g3/>)

(気象衛星画像 : <https://www.jma.go.jp/jp/gms/>)

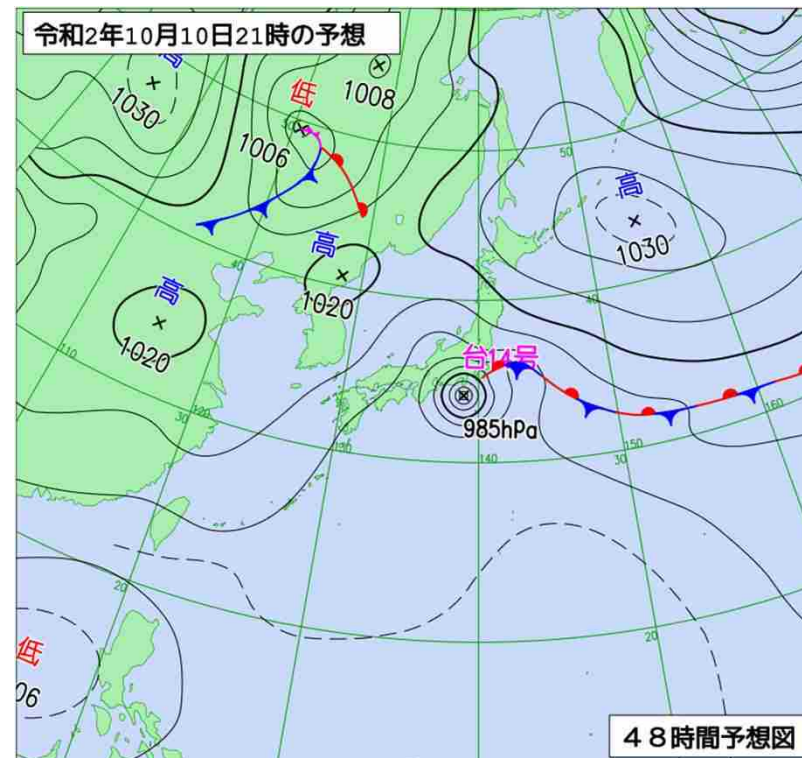
台風第14号の進路予想

10月9日 10時時点の資料

★台風は、東海地方に接近して東日本の南海上を東へ進む見込みです。



台風進路予想図



地上予想天気図
(10月10日21時の予想)

今後の予想を含めた最新の資料をご利用ください。
(台風情報：<https://www.jma.go.jp/jp/typh/>)

愛知県の防災事項

10月9日 10時時点の資料

- ★ 愛知県では、**10日朝から昼前にかけて、台風本体の雨雲の影響により激しい雨が降るため、東部の山間部を中心に総雨量が多くなる所がある見込み**です。
 - ★ 台風の接近に伴い、**10日朝から夜遅くにかけて東三河南部の外海で暴風となる見込み**です。
 - ★ 海上では、台風からのうねりが到達し、しけの状態となっています。**9日夕方から10日夜のはじめ頃にかけて外海で大しけとなる見込み**です。
- 【防災事項】うねりを伴った高波、暴風に警戒。土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水に注意・警戒。竜巻などの激しい突風、落雷に注意。**

愛知県において警報級・注意報級の現象が予想される時間帯

10月9日 10時時点の資料

	9日				10日								11日	
	12-15時	15-18時	18-21時	21-24時	0-3時	3-6時	6-9時	9-12時	12-15時	15-18時	18-21時	21-24時	0-6時	6-12時
	昼過ぎ	夕方	夜のはじめ頃	夜遅く	未明	明け方	朝	昼前	昼過ぎ	夕方	夜のはじめ頃	夜遅く		
台風最接近														
24時間最大雨量(ミリ)	10月10日12時までの24時間雨量(ミリ) 西部、東部共に:100								10月11日12時までの24時間雨量(ミリ) 西部、東部共に:おおよそ50					
1時間最大雨量(ミリ)	西部							30	30					
	東部							30	30					
大雨(土砂)	西部													
	東部													
洪水	西部													
	東部													
風(メートル)	陸上	13 ←	13 ←	13 ←	13 ←	13 ←	15 ←	15 ←	18 ←	18 ←	18 ←	18 ↓	18 ↓	
	内海	16 ←	16 ←	16 ←	16 ←	18 ←	18 ←	18 ←	20 ←	20 ←	20 ↗	20 ↗	20 ↗	
	外海	20 ↗	21 ←	21 ←	21 ←	22 ←	22 ←	22 ←	25 ←	25 ←	25 ↗	25 ↗	23 ↗	
波浪(メートル)	内海	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2.5	
	外海	5	6	6	6	6	7	7	8	7	6	6	5	
雷														

◎警報級の現象が予想される期間:



◎注意報級の現象が予想される期間:



※警報、注意報は、対象となる期間よりも前に数時間のリードタイムをとって発表します。

警報級・注意報級の期間は、台風の数や進路によって変わります。気象台が発表する最新の気象情報を利用してください。

東海地方への影響と防災事項

10月9日 10時時点の資料

- ★ 台風本体の雨雲の影響により、**10日にかけて三重県、静岡県を中心に、激しい雨や非常に激しい雨が降るため、山の東から南東斜面を中心に総雨量が多くなる所がある見込みです。**
 - ★ 台風の接近に伴い、**海上を中心に10日朝から暴風となる見込みです。**
 - ★ 海上では、台風からのうねりが到達し、大しけとなっており、**三重県では10日朝から猛烈なしけとなる見込みです。**
- 【防災事項】うねりを伴った高波に厳重に警戒。暴風、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に警戒。竜巻などの激しい突風、落雷に注意。**

東海地方において**警報級・注意報級**の現象が予想される時間帯

10月9日 10時時点の資料

	9日				10日								11日	
	12-15時	15-18時	18-21時	21-24時	0-3時	3-6時	6-9時	9-12時	12-15時	15-18時	18-21時	21-24時	0-6時	6-12時
	昼過ぎ	夕方	夜の はじめ頃	夜遅く	未明	明け方	朝	昼前	昼過ぎ	夕方	夜の はじめ頃	夜遅く		
台風最接近														
24時間最大雨量 (ミリ)	10月10日12時までの24時間雨量(ミリ) 愛知:100 岐阜:90 三重:400 静岡:250								10月11日12時までの24時間雨量(ミリ) 愛知・岐阜:およそ50 三重・静岡:50~100					
1時間最大雨量 (ミリ)	30	40	50	50	50	50	70	70	50	40	30			
土砂災害														
洪水														
風 (メートル)	陸上	15 ↓	15 ↙	16 ←	16 ←	16 ↙	16 ←	20 ←	20 ←	20 ↓	18 ↗	18 ↗	18 ↓	
	内海	16 ←	16 ←	16 ←	16 ←	18 ←	18 ←	20 ↗	20 ←	20 ←	20 ↗	20 ↗	20 ↗	
	外海	22 ←	22 ←	22 ←	22 ←	22 ←	22 ←	25 ←	25 ←	25 ↗	25 ↗	25 ↗	25 ↗	
波浪 (メートル)	外海	7	7	7	7	7	8	9	9	8	7	7	6	
	内海	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2.5	
雷			竜巻	竜巻	竜巻	竜巻	竜巻	竜巻	竜巻	竜巻	竜巻	竜巻	竜巻	

◎ **警報級**の現象が予想される期間:



◎ **注意報級**の現象が予想される期間:



※警報、注意報は、対象となる期間よりも前に数時間のリードタイムをとって発表します。

警報級・注意報級の期間は、台風の数や進路によって変わります。気象台が発表する最新の気象情報を利用してください。

今後の情報発表予定

- ◆ 「令和2年 台風第14号に関する**東海地方**気象情報」
 - 今日9日 16時頃に発表予定
- ◆ 「令和2年 台風第14号に関する**愛知県**気象情報」
 - 今日9日 17時頃に発表予定
- ◆ **東海地方と愛知県**の警報級・注意報級の現象が予想される時間帯の図情報を文章情報のあとに発表する予定です。
- ◆ その後は、10日にかけて、随時、台風第14号に関する気象情報を発表する予定です。
- ◆ 今後の気象台等が発表する**警報・注意報、竜巻注意情報、気象情報などに留意**してください。また、土砂災害、浸水害、洪水の危険度に関しては、10分毎に更新されるこれらの**危険度分布を確認**してください。

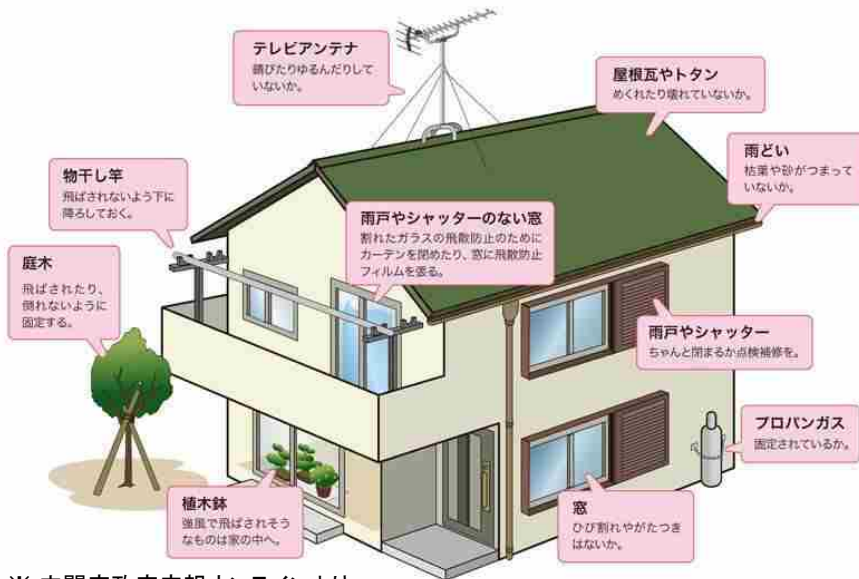
暴風による災害への備え

- 暴風が実際に吹き始めてからでは、屋外での行動は命に危険が及びます。
- 特に土砂災害や洪水、高潮のおそれがある区域では、風雨が強まる前の早めのタイミングで対応をとることが重要です。
- 風雨が強まるタイミングは、市町村毎に発表される警報・注意報で確認することができます。

豊橋市 **[発表] 暴風警報 雷注意報**
[継続] 波浪注意報

発表中の警報・注意報の種類	今後の推移 (■警報級 □注意報級)										備考・関連する現象	
	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日		
暴風 (風向風速 (SEFP-ポトル))	陸上	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	内海	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	外海	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
波浪 (ポトル)	内海	1	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	
	外海	2.5	3	4	4	4	4	4	4	4	4	以上も注意報級
雷												竜巻、ひょう

〈風が強まる前の家の対策〉



※ 内閣府政府広報オンラインより。

平均風速 (m/s) おおよその時速	人への影響 走行中の車	屋外・樹木の様子	建造物	おおよその瞬間風速 (m/s)
20~25 ~約90km/h	何かにつかまっていなくて立っていられない。飛来物によって負傷するおそれがある。 	細い木の幹が折れたり、根の張っていない木が倒れ始める。看板が落下・飛散する。道路標識が傾く。	屋根瓦・屋根葺材が飛散するものがある。固定されていないプレハブ小屋が移動・転倒する。ビニールハウスのフィルム(被覆材)が広範囲に破れる。 	30
25~30 ~約110km/h			固定の不十分な金属屋根の葺材がめくれる。養生の不十分な仮設足場が崩落する。 	40
30~35 ~約125km/h				
35~40 ~約140km/h	走行中のトラックが横転する。 	多くの樹木が倒れる。電柱や街灯で倒れるものがある。ブロック壁で倒壊するものがある。	外装材が広範囲にわたって飛散し、下地材が露出するものがある。 	50
40~ 約140km/h~			住家で倒壊するものがある。鉄骨構造物で変形するものがある。 	60

※ 平均風速は10分間の平均、瞬間風速は3秒間の平均です。

※ 人や物への影響は日本風工学会の「瞬間風速と人や街の様子との関係」を参考に作成しています。

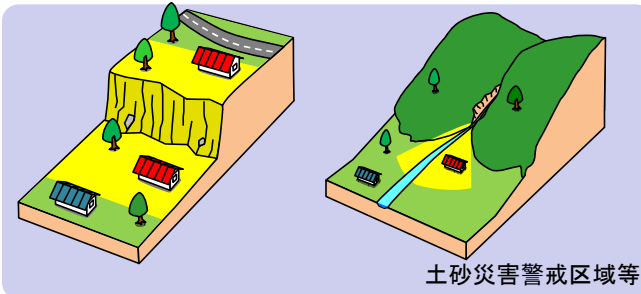
※ 詳細は気象庁ホームページを御確認ください。(https://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/amekaze/amekaze_index.html)

大雨による災害への備え

- ハザードマップ等により、土砂災害警戒区域や浸水想定区域等の命に危険が及ぶおそれがある場所をあらかじめ確認しましょう。
- 土砂災害・浸水害・洪水災害の危険度がどこで高まる予測となっているかを「危険度分布」の地図で確認することができます。
- 大雨により命に危険が及ぶおそれがある場所では、風雨が強まる前の早めのタイミングで対応をとることが重要です。風雨が強まるタイミングは、市町村毎に発表される警報・注意報で確認することができます。

命に危険が及ぶおそれがある場所

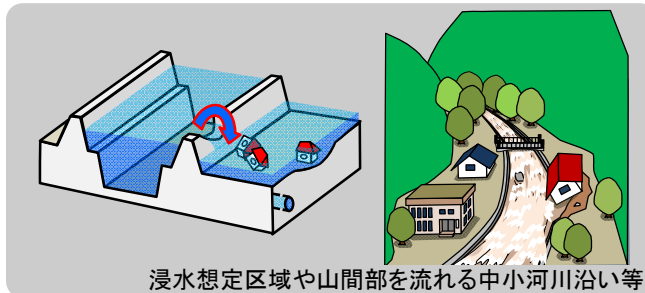
土砂災害



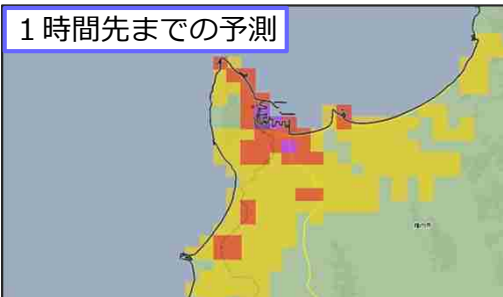
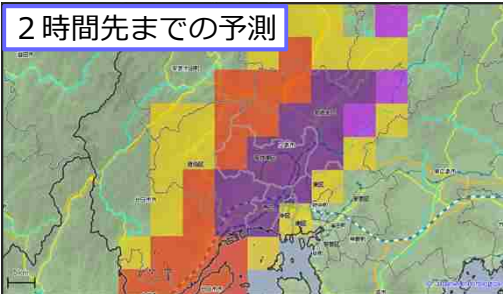
浸水害



洪水災害



危険度分布



災害の例



高波・高潮による災害への備え

- 台風の接近に伴い、沿岸では命に危険を及ぼすような高波や高潮のおそれがあります。特に、高潮で潮位が高くなっている時は、普段は波が来ないようなところまで波が押し寄せる事があります。むやみに海岸には近付かないでください。
- 高波や高潮に警戒が必要なタイミングは、市町村毎に発表される警報・注意報で確認することができます。
- 暴風が実際に吹き始めてからでは、屋外での行動は命に危険が及ぶため、特に高潮時に浸水のおそれがある区域では、風雨が強まる前のタイミングで対応をとることが重要です。

豊橋市 **[発表] 暴風警報 雷注意報**
[継続] 波浪注意報

豊橋市		今後の推移(■警報級 □注意報級)										備考・関連する現象
発表中の警報・注意報等の種別		12日					13日					
		15-18	18-21	21-24	0-3	3-6	6-9	9-12	12-15	16-18		
暴風	風向風速 (矢印・メートル)	陸上	10	13	19	19	18					
		内海	16	18	20	20	20	10	16			
		外海	18	20	23	22	23	18	16			
波浪	波高 (メートル)	内海	1	1	1.5	1.5	1.5					
		外海	2.5	3	4	4	4	4	4	4	以後も注意報級	
雷											電巻、ひび	

高潮時に浸水のおそれがある区域



高波や高潮による災害の事例



最新の防災気象情報は、気象庁ホームページ等でご確認ください。

台風情報 台風の位置・強さ・速度などの解析・予報、大雨や暴風の見通し

<https://www.jma.go.jp/jp/typh/>



東海地方の気象警報・注意報一覧

<https://www.jma.go.jp/jp/warn/210.html>



東海地方の気象情報

・気象概況や大雨等の見通し

https://www.jma.go.jp/jp/kishojoho/105_index.html



防災情報メニュー（愛知県）

<https://www.jma.go.jp/jma/bosai/aichi.html>



レーダー・ナウキャスト（降水・雷・竜巻）

<https://www.jma.go.jp/jp/radnowc/>



雨雲の動き（高解像度降水ナウキャスト）

<https://www.jma.go.jp/jp/highresorad/>



最新の防災気象情報は、気象庁ホームページ等でご確認ください。

今後の雨（降水短時間予報）

<https://www.jma.go.jp/jp/kaikotan/>



大雨警報（土砂災害）の危険度分布

・土砂災害の危険度を1 kmメッシュで表示

<https://www.jma.go.jp/jp/doshamesh/>



大雨警報（浸水害）の危険度分布

<https://www.jma.go.jp/jp/suigaimesh/inund.html>



洪水警報の危険度分布

<https://www.jma.go.jp/jp/suigaimesh/flood.html>



土砂災害警戒情報（愛知県）

・避難勧告等の応急対応が必要な土砂災害への警戒を呼びかける

https://www.jma.go.jp/jp/dosha/329_index.html



潮位観測情報：愛知県

<https://www.jma.go.jp/jp/choi/pref.html?areaCode=210&prefCode=352>



気象庁防災情報
Twitter

@JMA_bousai

気象庁公式の防災情報アカウントを開設しました。台風接近や大雨のおそれがある場合等に、現況や今後の見通し、防災上の留意点、緊急会見の内容等を解説します。

危機が迫る時間帯をお知らせする情報

大雨警報（土砂災害）・大雨警報（浸水害）・洪水警報の危険度分布

大雨や暴風等に警戒や注意が必要な時間帯を一目で分かるように表示

雨によって引き起こされる災害発生の危険度の高まりを5段階で表示

●警報・注意報

前倉市に気象特別警報発表中。

平成27年 7月 25日 17時00分 名古屋地方気象台発表

【特別警報(大雨)】福岡、兵庫、岡山地方、近畿に特別警報が発令されています。土砂災害や浸水、土砂の崩壊、河川の増水に最大級の警戒してください。

このほか、平成27年7月(土曜日)の大雨の発令も考慮し、今後発表される大雨警報・注意報の発令の発令を決定いたします。今後の発令に留意してください。

発表種別	発表時刻	発表地域	発表内容
特別警報	7月25日17時00分	前倉市	大雨
警報	7月25日17時00分	前倉市	大雨
注意報	7月25日17時00分	前倉市	大雨

- 危険度の高まる時間帯を色分けして発表
- 市町村単位で発表
- ⇒ 何時、どのような現象で危険になるか確認

- 【各種別についての凡例】
- 特別警報
 - 警報
 - 注意報
 - 今後特別警報に切り替える可能性が高い警報
 - 今後特別警報に切り替える可能性が高い注意報
 - 今後警報に切り替える可能性が高い注意報

⇒ <https://www.jma.go.jp/jp/warn/>

●「早期注意情報（警報級の可能性）」

令和元年 7月26日 17時00分 名古屋地方気象台発表

愛知県西部の早期注意情報(警報級の可能性)

西部では、26日までの期間内に【高】及び【中】はない。今後の情報に留意。

種別	警報級の可能性					
	25日 明け方まで	25日 朝～夜遅く	27日	28日	29日	30日
大雨	18-6	6-24	[中]	-	-	-
暴風	-	-	-	-	-	-
波浪	-	-	-	-	-	-

【高】：警報発表中、又は、警報を発表するような現象発生の可能性が高い状況。

【中】：【高】ほど可能性が高くないが、警報を発表するような現象発生の可能性がある状況。

- 5日先までの警報発表の可能性を表示
- 予報と同じタイミングで地域ごとに発表
- ⇒ 今後、現象がどうなるか確認

⇒ <https://www.jma.go.jp/jp/warn/>

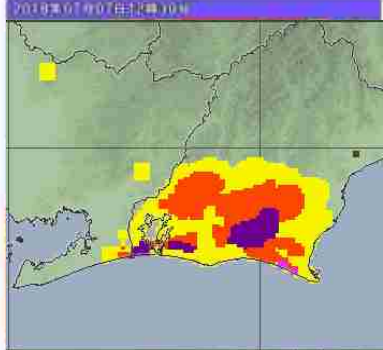


政府インターネットテレビ 河川の洪水危険度をリアルタイムで予測 危険度分布

大雨時にインターネット上で公開している洪水警報の危険度分布は、全国約2万河川の危険度を5段階に分けて表示しています。動画では、これをどう活用できるのか、実際に照らして紹介しています。(約6分)

⇒ <https://nettv.gov-online.go.jp/prg/prg16847.html>

●大雨警報（土砂災害）



土砂災害警戒情報及び大雨警報(土砂災害)等が発表された市区町村内において実際にどこで危険度が高まっているかを確認

- 高危険度 極めて危険【警戒レベル4相当】
- 非常に危険【警戒レベル4相当】
- 警戒【警戒レベル3相当】
- 注意【警戒レベル2相当】
- 低 今後の情報等に留意

※警戒レベル4相当：避難が必要とされる状況。

※警戒レベル3相当：高齢者等の避難が必要とされる状況。

※警戒レベル2相当：避難行動の確認が必要とされる状況。

⇒ <https://www.jma.go.jp/jp/doshamesh/index.html>

●大雨警報（浸水害）



大雨警報(浸水害)等が発表された市区町村内において実際にどこで危険度が高まっているかを確認

- 高危険度 極めて危険
- 非常に危険
- 警戒
- 注意
- 低 今後の情報等に留意

⇒ <https://www.jma.go.jp/jp/suigamesh/inund.html>

●洪水警報



洪水警報等が発表された市区町村内において実際にどこで危険度が高まっているかを確認

- 高危険度 極めて危険
- 非常に危険【警戒レベル4相当】
- 警戒【警戒レベル3相当】
- 注意【警戒レベル2相当】
- 低 今後の情報等に留意

※警戒レベル4相当：避難が必要とされる状況。

※警戒レベル3相当：高齢者等の避難が必要とされる状況。

※警戒レベル2相当：避難行動の確認が必要とされる状況。

⇒ <https://www.jma.go.jp/jp/suigamesh/flood.html>

「危険度分布」の通知サービスについて

- 土砂災害や洪水等からの自主的な避難の判断に役立てていただくために、危険度が高まったときにメールやスマホアプリでお知らせするプッシュ型の通知サービス※1を開始しました。
- この通知は市町村からの避難勧告等よりも先に届く場合があります。このため、通知を受信したときには、市町村からの避難勧告等を確認するとともに、避難勧告等が発令されていなくても、市町村内のどこで危険度が高まっているかを「危険度分布」の地図や河川の水位情報等で確認することで、自主的な避難の判断※2・3に活用いただけます。



※1 住民の主体的な避難の判断を支援する取組の一環として、気象庁の協力のもとで、以下のリンク先の5つの事業者が実施するものです。
(http://www.jma.go.jp/jma/kishou/knownow/bosai/ame_push.html)。

※2 離れた場所に暮らしている家族に避難を呼びかけることにも活用いただくことができます。

※3 避難にあたっては、あらかじめ指定された避難場所へ向かうことにこだわらず、川や崖から少しでも離れた、近くの頑丈な建物の上層階に避難するなど、自らの判断でその時点で最善の安全確保行動をとることが重要です。

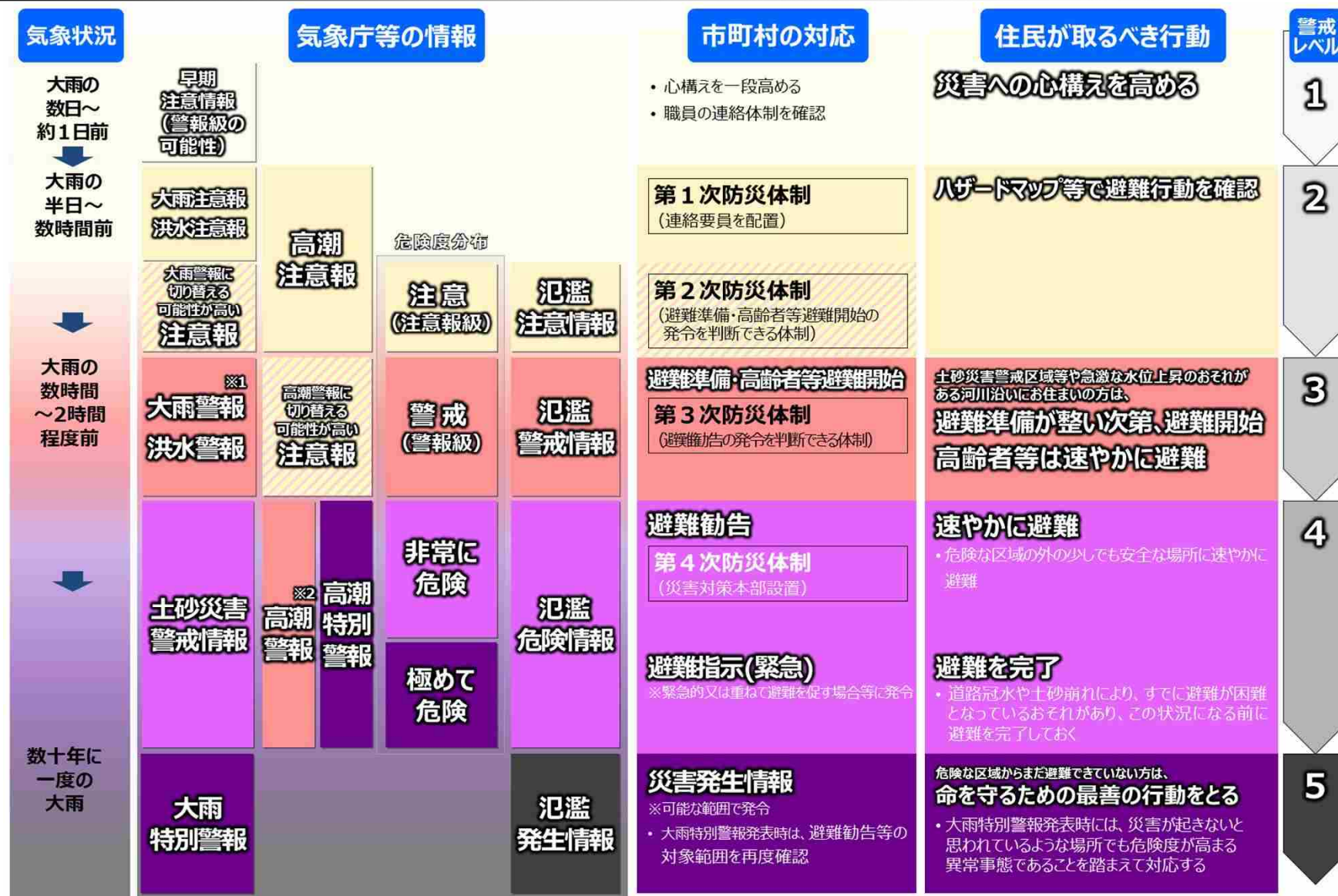
5段階の警戒レベルと防災気象情報

警戒レベル	住民が取るべき行動	市町村の対応	気象庁等の情報	相当する警戒レベル
5	<p>災害がすでに発生しており、命を守るための最善の行動をとる</p>	<p>災害発生情報 ※可能な範囲で発令 ・大雨特別警報発表時は、避難勧告等の対象範囲を再度確認</p>	<p>大雨特別警報</p> <p>危険度分布</p> <p>氾濫発生情報</p>	5相当
4	<p>・危険度分布の「極めて危険」（濃い紫）出現時には、道路冠水や土砂崩れにより、すでに避難が困難となっているおそれがあり、この状況になる前に避難を完了しておく</p> <p>速やかに避難 ・危険な区域の外の少しでも安全な場所に速やかに避難</p>	<p>避難指示(緊急) ※緊急的又は重ねて避難を促す場合等に発令</p> <p>避難勧告</p> <p>第4次防災体制 (災害対策本部設置)</p>	<p>危険度分布</p> <p>極めて危険</p> <p>非常に危険</p> <p>氾濫危険情報</p>	4相当
3	<p>土砂災害警戒区域等や急激な水位上昇のおそれがある河川沿いにお住まいの方は、</p> <p>避難準備が整い次第、避難開始 高齢者等は速やかに避難</p>	<p>避難準備・高齢者等避難開始</p> <p>第3次防災体制 (避難勧告の発令を判断できる体制)</p>	<p>危険度分布</p> <p>大雨警報 洪水警報</p> <p>※1 高潮警報に切り替える可能性が高い 注意報</p> <p>警戒(警報級)</p> <p>氾濫警戒情報</p>	3相当
2	<p>ハザードマップ等で避難行動を確認</p>	<p>第2次防災体制 (避難準備・高齢者等避難開始の発令を判断できる体制)</p> <p>第1次防災体制 (連絡要員を配置)</p>	<p>危険度分布</p> <p>大雨警報に切り替える可能性が高い 注意報</p> <p>高潮注意報</p> <p>大雨注意報 洪水注意報</p> <p>注意(注意報級)</p> <p>氾濫注意情報</p>	2相当
1	<p>災害への心構えを高める</p>	<p>・心構えを一段高める ・職員の連絡体制を確認</p>	<p>早期注意情報(警報級の可能性)</p>	

※1 夜間～翌日早朝に大雨警報(土砂災害)に切り替える可能性が高い注意報は、避難準備・高齢者等避難開始(警戒レベル3)に相当します。

※2 暴風警報が発表されている際の高潮警報に切り替える可能性が高い注意報は、避難勧告(警戒レベル4)に相当します。

段階的に発表される防災気象情報の活用例



※1 夜間～翌日早朝に大雨警報(土砂災害)に切り替える可能性が高い注意報は、避難準備・高齢者等避難開始(警戒レベル3)に相当します。

※2 暴風警報が発表されている際の高潮警報に切り替える可能性が高い注意報は、避難勧告(警戒レベル4)に相当します。

東海地方の地形図

